

【その他】

べき等 (idempotent) : 何度同じ操作をしたとしても同じ結果を得られることであり、UNDOやREDOもこの性質を持つ。

DDBの問い合わせ処理 : 準結合法 (セミジョイン法) は、DDBの結合演算において、最適化により通信負荷も最も小さくする。
また、ハッシュ法は等結合だけに適用できる。

Indexed Database API : WebブラウザからDBを利用する時のAPI

CREATE関係

「CREATE DATABASE」で汎用的なDBを定義。表領域を格納することができる。

「CREATE TABLESPACE」で表領域を定義。システム表領域、ユーザ表領域等を格納することができる。

「CREATE TABLE」で表領域に格納する表を定義。ユーザ表領域に格納される。

「CREAT TABLE A **LIKE** B」でテーブルBを基にして、同じ列構成のテーブルAを定義

CREATE文で定義したTABLE, VIEW, ROLE, DOMAIN等は、**DROP文で削除**、ALTER文で変更できる。

GRANT文で定義した権限は、**REVOKEで取り消す**。

更新 (INSERT, UPDATE, DELETE) の1つである**DELETE文で削除**するのは、テーブルの中のデータ

SAVEPOINT

以下のとおり、複雑なトランザクションの中に**SAVEPOINT文**を置いておくことで、トランザクション実行中に、予め指定した条件を満たしたときは、**SAVEPOINT文**の後の処理は**ロールバック**により取り消すことができる。つまり、ロールバックのトリガーがシステム障害等による外的要因ではなく、トランザクション内の意図的な内的要因である。

```
INSERT INTO A ...  
UPDATE A SET ... WHERE ...  
DELETE FROM A WHERE ...
```

SAVEPOINT X

```
INSERT INTO B ...  
UPDATE B SET ... WHERE ...
```

ROLLBACK TO SAVEPOINT X

} 指定した条件を満たしていれば、
この部分だけロールバック

外部キー制約と参照制約：同じもの

在庫引当：消費者から受注した商品数を実在庫数から差し引くことを指す。実在庫数が変化することはないが、すでに受注した分の在庫をほかの顧客に販売しないよう、あらかじめ差し引いておくことで適切な在庫管理が可能となる。

注）午後Ⅰ及びⅡの概念データモデリングに関する設問においては、「在庫引当」だけでなく、在庫管理業務、受注管理業務、生産管理業務等の様々なビジネスモデルの概念や用語を知っておくことが必須となる。試験時に入庫と入荷、出庫と出荷、実在庫数量と引当済み在庫数量の違いを知っておかないとアウトである。

EDI (Electronic Data Interchange : 電子データ交換)：企業や行政機関の取引で発生する帳票を、専用回線やインターネットを用いて電子データとして自動的にやり取りする仕組みのこと。データ管理の労力とコストを大幅に削減でき、販売や物流を含む多くの業界で不可欠な存在とされる。

テーブルの再編成：断片化したデータを並べなおしたり、テーブル内の空き領域を開放する。いわゆるデフラグである。パフォーマンス維持改善のために実施する必要がある。

ORDER BY句：複数の列名を指定する場合には、1つ1つの列名の後にASCやDESCが必要となるが、省略するとASCになる。

関数従属性の推論則

推論則の1つである推移律は「 $X \rightarrow Y$ かつ $Y \rightarrow Z$ ならば $X \rightarrow Z$ 」なので、「 $X \rightarrow Z$ 」があると冗長である。

注) 「 $X \rightarrow Y$ かつ $Y \rightarrow Z$ ならば $X \rightarrow Z$ 」の逆は成立しない。